

# おでかけだより

新春号 NO. 48

2016年1月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## 新年あけましておめでとうございます

## 2016申

理事長 樋口 蓉子

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

おでかけサービス杉並も2005年2月の事業開始以来10年を経過し、昨年5月には10周年のお祝いの会を開催することができました。その節は多くの方々にご参加いただき、10年を振り返りながら新たな飛躍への想いを語ることができました。ありがとうございました。

昨年の事業を振り返ってみますと、

- ① 移動サービス事業では、お問い合わせや新規加入の方が多く、その結果として運行回数も増加しました。運行員も2名の方が新しく参加されました。
- ② ゆうゆう館2館の運営では、桃井館は9年経過後再契約1年目の年でしたが、新たな企画「土曜倶楽部」（音楽のタベ・おとこのおしゃべり会）も大変好評で定着してきました。善福寺館は2クールめに入り（3年が1クール）、「善福寺アカデミー」など地域の人材のご参加をいただき、地域のゆうゆう館として位置づいてきています。
- ③ 困った時のちょっとしたお手伝いをする「NEKO（ネコ）の手サポート」は、通院や散歩の付添、お話し相手など、定期的なお手伝いが増えてきています。
- ④ 「オープンリビングけやきの見える家」は、オープンから1年余となり、子どもから高齢者まで地域の皆様の居場所として親しまれ、また調査活動を通してながらケア24をはじめとして地域の皆様との関係性づくりにも励んでいます。
- ⑤ 区委託事業「杉並区移動サービス情報センターもび〜る」は、4月から、これまでの車での外出支援に加えて徒歩での付添サービス等を含め外出全般を支援する「杉並区外出支援相談センター」と生まれ変わりました。最後まで安心して暮らせるために、“外出”は大事な機能といえます。

本年もメンバー一同、これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。



## 移動サービス



理事・運転協力員 島津 俊男

昨年の運行回数は、ほぼ目標どおりの実績を達成することができました。また、皆様には過失などによる事故も無く、無事に一年を終えることができました。多くの方々に安全・安心・快適な運行を提供することができ、お役に立てていることが運行員として嬉しい限りです。今年は、地域の高齢者や障がい者の方々の方々の足として、もっともっと多くの方々に利用していただき、気軽に外出していただけるよう願っております。私は、運行員を始めて5年目のお正月を迎えますが、11年乗った車を買替えることになりました。年齢を考えると多分、最後のマイカーになるので、一大決心。選ぶときには、より安全・安心・快適な運行ができるように「衝突回避装置」などを付け、色は夜でも目立つ白にしました。車いすの固定方法が前の車より少し簡単になります。今年は、この新車で無事故、無違反に心掛けて皆様のお役に立ちたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

## ゆうゆう桃井館

理事・ゆうゆう桃井館 竹永 信子

おでかけサービス杉並がゆうゆう桃井館の運営を受託してから10年になります。さまざまな方々のご協力と、多くの皆様のご利用のおかげで、大変順調にこれまで運営を続けることができました。体操教室やマージャンサロンなどは10年前からずっと参加し続けている方もあり、また昨年始めた『土曜倶楽部』の「音楽のタベ」と「おとこのおしゃべり会」には音楽好きの方や男性達など新規の参加者が増えつつあります。今年さらには内容を充実させて、多世代の関心に沿った事業運営をめざします。同時に地域の高齢者の皆様に「桃井館に来るとホッとする」と喜んでいただけるようなあたたかな居場所をこれからも提供できるように、努めたいと思います。

## 外出支援相談センターもび〜る

もび〜る 信坂 伊都子

杉並区移動サービス情報センターもび〜るは、外出が難しい方のための移動手段の情報を発信するセンターとして開設され、今年で9年目を迎えます。昨年4月より外出支援相談センターと名称も変わり、これまでの業務に加え、付き添い介助サービスや気軽に行ける近所の交流場所の情報収集と発信も行っています。「もび〜る」には、動く、移動するという意味があります。すなわち、「出かけよう」を謳ったセンターで、外出が難しい方とは、身体の障がい、認知症、心の障がいなどを持った様々な方たちです。もび〜るでは、相談業務のほか外出企画も行っています。杖や車いすを使用する方々と、福祉車両に乗って、妙法寺、神楽坂や羽田空港に行きました。昨年は、ケア24に推薦していただいた方々と、サポーターと共に、バスで深川にも行きました。近くの交流場所などへ、これからも継続して外出していただけるよう願っています。

## オープンリビング

### けやきの見える家

理事 樋口 蓉子

「けやきの見える家」も、早1年3か月経ちました。段々それなりのペースができてきて、ボランティアの方々も楽しみながら参加いただいています。何より、赤ちゃんから104歳！の方まで様々な方々にご利用いただいているのが嬉しいことです。さて、今年の抱負。昨年実施した「地域福祉ニーズ調査」を分析し、ご参加いただいた方たちに結果をお返しし（3月に報告会を開催予定）、私たちが暮らす地域を安心して生活できる地域にするために、ケア24や様々な団体や人々と一緒に行動していきたいと思っています。近所にお住まいでもお一人ではなかなか来られない方たちに、送迎のお手伝いをしていきたい、そのためのボランティアさんもお願いしたい。そんな“ささえあい”が楽しく気軽にできる地域になるといいなー、と思います。

## ゆうゆう善福寺館

ゆうゆう善福寺館 高橋 千佳子

善福寺館は4月に5年目に突入しますが、少し慣れてきたからこそ基本に立ち戻りたいと考えています。区が実施しました27年度利用者アンケートで「職員の対応が丁寧」の項目では、100%の方にご満足いただけていました。利用者さんの入館・退館時には必ず事務室の入口に立ち、挨拶を交わし、話をするといった心の通う対応を継続していきます。昨年、新たに取り組んだことは①「援農」の取り組み②「地域連携を進める会」を桃井館に倣って開催できた事です。今年それらをステップアップさせて、～ゆうゆう館と地域の農園との更なる交流を！高齢者と若者を含めた多層世代で交流できる居場所づくりを！～めざしていきます。更に、広報活動に力点を置き、善福寺館の認知度を上げて新規の方にも、もっとお越しいただけるようにいたします。多くの笑顔と出会えるようスタッフ一同頑張ります！



## NEKO (ネコ) の手サポート

理事 野口 恭子

ネコの手活動が始まって3年が経とうとしています。「石の上にも3年」とは良く言ったもので、恐る恐る手探りで始めた私たちですがサポートを重ねるにつれ、内はもちろん外での認知度も高まり、今ではネコの手サポートの利用を目的に加入される方もおられます。サポートの内容は、当初予想していた作業的な事は全く無く（遠慮されているのかもしれませんが）、散歩や診察の付き添い、話し相手など介護保険のすき間的な依頼が多くなっています。今年、サポーター登録している方たちと共に3年間の振り返りの会を2月に設け、ますます需要が増えていくであろう今後に向けて、新たなビジョンを築いていきたいと思っています。

